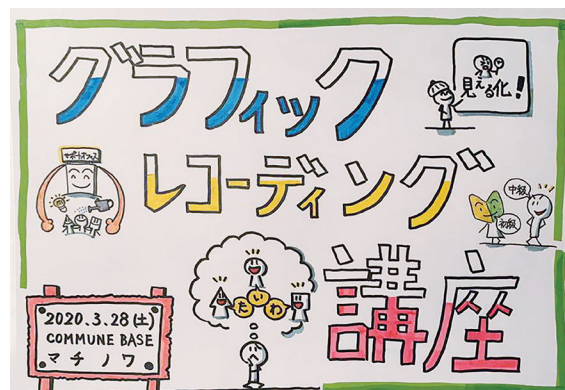


対話が見える化する グラフィック レコーディング講座 初級・中級編



2019年11月に実施し大人気だった「グラレコ講座」が再び！

「グラフィックレコーディング」とは、会議や対話を絵や図などのグラフィックで見える化し、記録するファシリテーションの手法です。

今回は初級編に加え、中級編のエッセンスも加わりパワーアップ。

初めての方も二回目の方もご満足いただける内容を予定しています。

絵を描くなんてなんだか難しそう…と思う方も大丈夫！

「人の顔の喜怒哀楽」や「身体表現」「物」「動物」など描き方のコツを教わりながら、専用のワークシートも使って練習していき、

最後には実際にペアを組んでお話をグラレコすることにも挑戦しますよ！

前回の講座の様子
がわかる
実施レポートも
是非ご覧ください！



3/28 (土) 13時～16時 (交流タイムあり)

場 所 COMMUNE BASE マチノフ

参加費 1,000円 **定 員** 20名

講 師 塚本忠行さん (magical reading-Labo 代表)

申し込みは
こちら



Event Schedule

今年度のイベントスケジュールです。
主催イベントについての詳細は
ホームページをチェックしてください。

3/4 (水) 14時～17時 【企画協力】 @町田市役所おうえんルーム 私たちの里山で私たちにできること 主催：町田市経済観光部農業振興課 対象：18～25歳	3/17 (火) 午前 【主催】 @町田市民文学館ことばらんど まち“だ”づくりサロン 子どもにやさしいまちって どんなまち (仮)	3/28 (土) 13時～16時 【主催】 @COMMUNE BASE マチノフ 対話が見える化する グラフィックレコーディング講座 ～初級・中級編～ Pick Up
3/25 (水) 14時～16時 【企画協力】 @町田市民フォーラム4F講習室 ボランティア・市民活動団体向け 団体の悩み みんなで解決しよう！ 主催：町田市社会福祉協議会	4/25 (土) 午後 【主催】 @町田市役所3階 町田市地域活動サポートオフィス 1周年イベント	

 **町田市地域活動
サポートオフィス**

✉ info@machida-support.or.jp

🔍 町田市地域活動サポートオフィス

検索

公式SNS 更新中



www.machida-support.or.jp

☎ 042-785-4871 受付時間 月曜日から金曜日 午前9時から午後6時
(毎月第三水曜日は午後5時まで)



TAKE FREE



Now! | 町田市地域活動サポートオフィスの近況

団体の事業計画をつくる連続講座 「まち“だ”づくりカレッジ」最終報告会

2020年1月24日 (金)
@町田市民文学館ことばらんど

1月24日 (金) 町田市民文学館ことばらんどにて団体の事業計画をつくる連続講座
「まち“だ”づくりカレッジ」最終報告会を開催しました。



「まち“だ”づくりカレッジ」では、これまで3回の講座を通じて、団体のビジョン・
ミッション、ステイクホルダー、事業計画策定と進めてきました。最終報告会では、
A3サイズ1枚で各団体それぞれの計画をまとめて報告。サポートオフィスを含む
4団体が順番に報告しました。

掲載する項目・レイアウトは自由で、各団体とも個性的な資料となりましたが、ビジョン、取り組む課題の現状、事業計画といった
項目は、共通していました。課題の現状では、全団体が各種統計データを提示。「今回資料作成に向けてちゃんと行政のデータに
あたる事ができた」という声がありました。また、どの団体もデータとともに当事者の生の声が入り込んでいました。これは、現
場で活動しているからこそ見えてくるもの。その両方がしっかりと書かれていることで資料の説得力が高くなります。そして
何より伝わる資料には課題の定義と事業、ビジョン達成までがきちんとしたストーリーとなっていることが不可欠です。

報告は、10分のプレゼンタイムの後、20分のフィードバックタイム。フィードバックタイムでは、核心に迫る質問や励まし、気
づきがたくさん寄せられ、さらに考えを深めることに繋がりました。全員の報告が終了した後の振り返りタイムでは、「未来志
向でしっかり考える時間が大事と気づいた」「自分たちでできることできないこと、サポートしてもらえばできることがわかって



きた」「一度やってきたことを崩してゼロにした。でもやっていけると思うことがで
きた」「新しいエネルギーをもらった」と前向きな声が続いていました。

4団体とも当日朝まで修正を重ねた資料でしたが、参加者から多くのフィード
バックがあり、引き続きブラッシュアップすることになりました。最終報告会はあく
までスタートの場。サポートオフィスも、事業計画をブラッシュアップするとともに、
引き続きみなさんに伴走して事業計画づくりを支援していきます。

来年度も事業計画づくりの連続講座を実施します。

ご関心のある方、ぜひご参加ください。

イベント情報
お待ちしております

今後は町田周辺の講座やイベント、NPO支援情報を通信・HP等に掲載予定です。発信したい情報がある場合は、
【タイトル、日時、場所、参加費、問い合わせ先】をinfo@machida-support.or.jp宛てにお寄せください！





Report

13

特定非営利活動法人LaMano (クラフト工房LaMano)

天然素材をつかった染めと織りの本格作品!ボランティア参加も多数

クラフト工房LaManoは、1992年に設立された障害のある方の作業所です。古民家を使った緑豊かで開放的な工房で染色、織物を中心としたクラフト制作、2006年からはアート活動にも力をいれています。藍染のコースターや鯉のぼり、ストール、靴下が人気で、アート作品もフランスでの展覧会の展示作品に選ばれるなど高い評価を得ています。最近では、裏の山で綿花や藍の栽培にも取り組んでいます。制作、畑や山の管理にはこれまでに何百人ものボランティアの方が参加されているとのこと。作品も、たくさんの人が関わる運営のあり方も素敵だなと感じました。

団体からのメッセージ

クラフト工房LaManoのワークショップ

藍染・草木染体験WS
2月1日、3月7日

糸つむぎ体験WS

2月28日、3月15日

※藍染・草木染の鯉のぼり販売中〜4月頃まで



団体プロフィール

名称 特定非営利活動法人LaMano
所在地 町田市金井町5-14-18
メール koubou@la-mano.jp
HP www.la-mano.jp
代表 高芝一民

Report

14

特定非営利活動法人子ども広場あそべこどもたち

子どもの“豊かで自由な遊び”がここにあります。

特定非営利活動法人子ども広場あそべこどもたちは、芹ヶ谷公園の自然の中にあるせりがや冒険遊び場(せりぼう)を運営。冒険遊び場は、自然の中で子どもたちが「やってみたい」と思う遊びが自由にできるよう、できる限り規制を無くした場です。1997年から活動をスタートし、地域で子どもたちが自由に遊び世代を超えた交流のできる居場所づくりに取り組んでいます。乳幼児向けの子育てひろば「にじいろ・ひろば」や、音楽・ダンスといったパフォーマンス「みんなのステージ」なども実施。毎週水〜日曜日、10〜17時半、イベント詳細はHPにて。

団体からのメッセージ

冬はたき火が人気!食材を焼いて食べたり、火を囲んでおしゃべりの輪が広がるよ。泥遊び、元気に走りまわる子、木工作する親子、楽しみ方はそれぞれ。それがせりぼう流!



団体プロフィール

名称 特定非営利活動法人子ども広場あそべこどもたち
所在地 芹ヶ谷公園内(町田市原町田 5-16) 多目的広場脇
メール asobekodomotati@yahoo.co.jp
HP seribou.jimdofree.com/
代表理事 大野浩子

Report

15

特定非営利活動法人まちだ自然エネルギー協議会

市民の力で町田を自然エネルギーの街へ!

まちだ自然エネルギー協議会は、「2040年自然エネルギー100%への道」をビジョンに掲げています。コンセプトブック発行、隔月の定例勉強会の開催などを行っています。12月11日に実施した第1回まちだ・さがみはらジョイントワーク「気候変動をとりまく日本社会の状況」には、30名以上の方が参加しました。また、事業部門として「町田市民電力株式会社」も運営。一昨年「生活クラブ館まちだ」の屋上に市民発電所を建設しました。他にも太陽光発電で蓄電された電気をイベントの際にレンタルする「machisora」という事業も実施しています。

団体からのメッセージ

全体定例会を偶数月第3火曜日に開催しています。各回設定したテーマに精通した方から話題を提供していただき、参加者みんなで考え議論します。どうぞお気軽にご参加ください!



団体プロフィール

名称 特定非営利活動法人まちだ自然エネルギー協議会
メール machida.core.0625@gmail.com
FB www.facebook.com/machida.core/
共同代表 清原理、入澤滋



今回紹介したセミナー以外にもこれまでに開催したイベントのレポートもホームページに掲載しています。ご関心のある方はそちらもチェックしてください!



Activity

09

障がいのある人の生涯学習を考える ～ともに学ぶ場づくりを目指して～

2019年11月3日(日)、10日(日)
町田市生涯学習センター

POINT! 行動指針とは大事にしたい価値感、行動原則、方針、遵守すべきルールなどを明文化したもの

11月3日、10日の2日にわたって町田市障がい者青年学級*主催『障がいのある人の生涯学習を考える～ともに学ぶ場づくりを目指して～』と題するワークショップの企画、進行を務めました。ワークショップは、障がいのある人の「学びの場」のあるべき姿を言語化し「支援者の行動指針」を策定することを目的としたものです。障がい当事者、青年学級のボランティアの方、保護者の方など多様な方々が参加。参加者全員でじっくりと対話することを意識して進行を行いました。

1日目「目指す青年学級の姿」

1日目は、今回の企画者である高井大輔氏(青年学級ボランティアスタッフ)より青年学級と自身の関係、そこから見てきた青年学級の魅力についてご報告いただきました。「福祉サービスとは違う場」「支援するのではなく一緒に発信する」「楽しい空間、楽しめる空間」といったキーワードが提示されました。

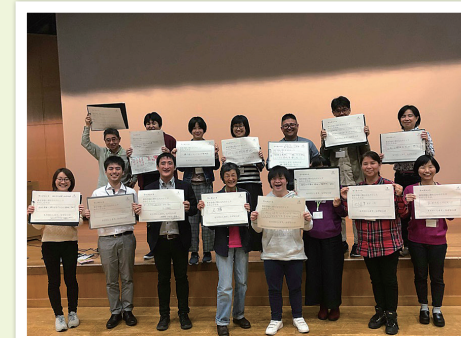
その後、一人一人が考える「目指す青年学級の姿」を絵で表現し、お互いの書いた絵とそれを表すキーワードを共有。「制度にしばられない場所」、「支援する側される側の垣根がない」、「『青年学級』がなくても場がある社会が理想」など、多様な視点で青年学級についての想いを共有しました。



2日目 青年学級「みんなのあすとみらいの約束」

2日目は、はじめに「目指す青年学級の姿」を実現するために大切にしたい「価値観」についてキーワードを出すグループワーク。その後、「行動指針」策定に向けて「青年学級に関わるものとしてわたしたちは「〇〇」を大切にします」という文章を各自作成し、全員で共有。「青年学級に関わるものとしてわたしたちは、『学ぶ資格は誰にでもあること』を大切にします」など、それぞれの立場から大切にしたいことが提示されました。また、参加者ののぶさんから行動指針に替わる「みんなのあすとみらいの約束」という言葉が提案されました。

お互いの言葉に耳を傾け合い、共有することで、考えが深まることを感じる場となりました。進行役を務めたサポートオフィスにとっても改めて対話の重要性を確認する場でした。



※「町田市障がい者青年学級」は、1974年から活動している知的障がいのある方の卒業後の学びの場です。音楽・スポーツ・演劇・創作活動などを行っています。